

植物保護学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 根岸寛光・篠原弘亮

◆学習・教育目標

作物に発生する病害は作物の安定生産を阻害する重要な要因である。本特論では病害の原因の解明とその制御に関する知識・技術の把握を目的として、病原学、植物と病原との相互反応、発生生態等を理解し、防除方法や研究の最前線の情報を把握する。植物病理学関連のトピックスについては、外部講師による最新の情報を得るとともに受講者自身の研究課題との関連等についても考察する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

植物菌類病学

植物細菌病学

植物ウイルス病学

植物検疫

診断・同定

発生生態

病害防除法

環境保全型農業

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス	授業の実施方法および評価手法等の説明	授業前には教科書および資料等で取り上げた文献で各テーマについて授業前に十分目を通しておくとともに、終了後にはさらに参考書での復習・確認を行うこと。
2	植物病理学の歴史	植物病害に関する歴史的トピック等の紹介	
3	植物病原学(1)	植物病原菌類の特性、分類、同定	
4	植物病原学(2)	植物病原菌類による病害事例解説	
5	植物病原学(3)	植物病原細菌の特性、分類、同定	
6	植物病原学(4)	植物病原細菌による病害事例解説	
7	植物病原学(5)	植物病原ウイルスの特性、分類、同定	
8	植物病原学(6)	植物病原ウイルスによる病害事例解説	
9	病害の診断(1)	古典的な植物病害の診断技法	
10	病害の診断(2)	新たな技術を利用した植物病害の診断	
11	感染生理	植物と病原の相互反応	
12	発生生態	病害の発生生態と病原の生活環	
13	病害防除法(1)	耕種的防除、化学的防除、生物的防除	
14	病害防除法(2)	総合的病害防除システム	
15	植物病理学の最前線	植物病理学に関する最新の研究動向	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

植物病理学/大木 理/東京化学同人（2005）

植物病理学/眞山滋志・難波成任編/文英堂（2010）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

Plant Pathology/Agrios G.N./Elsevier Academic Press（2005）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

講義時の質疑応答ならびに課題発表で評価する。

◆オフィスアワー

原則として毎週月曜日午前8:00~9:00。用件がある場合には事前に連絡を取ること

◆その他受講上の注意事項

学内外で開催される日本植物病理学会 EBC 研究会ワークショップ，日本農薬学会農薬生物活性研究会シンポジウム，日本植物防疫協会シンポジウム，報農会シンポジウムなど，植物病理学に関する学術集会等への参加およびその内容に関するレポートを義務づけることがある。
